

# 日教組第一回

## 全国教育研究大会参加記

山下俊郎

日本教職員組合が従来の組合運動一本だけではなく、さらに一步ふみ出し教育の実際的研究の結果をめざして最初の試みとして催した第一回全国教育研究大会は、十一月十・十一・十二日の三日間、日光町で開かれた。この全国教育研究大会は、あらかじめ委嘱された各大学教授、研究所員、教育評論家等からなる講師団によつて、各分科会毎に問題提出を行い、この問題によつて、各府県毎に教育研究大会が催され、その成果を持ち寄つたものである。したがつてこの大会の何よりの成果は学者グループと教育実家の結びつきによつて、研究面に新しい方向を展開し得た所に在る。

大会は全部で十一の分科会に分かれていたが、この中に第九分科会として幼児教育に関する分科会が持たれたことは、幼児教育に関心を持つ者にとつて、見のがすことの出来ない、そして誠に有難いことであつた。私は第九分科会の講師団の一人として、その準備から参画したので、ここにその概要を報告して見たいと思う。

### 二

この大会の第九分科会のテーマは「幼児教育の現状とその打開策をいかにするか」というのであつて、講師としては、功刀嘉子氏・羽仁説子氏とわたくしが参画した。そして七月からは教組の中央執行委員でこの分科会の責任者である吉川久夫氏とわた

くし差で相談して作製して全国各府県に流した問題は次のようなものであつた。

#### 一、幼児教育の実態

- 1 幼児の育てられる環境  
例えば家庭、小地域社会、教育機関等
- 2 幼児に与えられる文化資料について  
例えば玩具、絵本等
- 3 幼児教育者の技術について  
例えば、科学の芽生えに対する助長の

方法、言葉の練習等

4 諸外国と其の比較

#### 二、幼児教育の施設、機関

- 1 幼児教育施設、機関とその収容率、施設の数と収容されている幼児の数  
の比

## 2 設備の現情

例えば部屋、職員数、楽器、遊び施設と子供の使用率

## 3 職員について

例えば身分、給与、研究時間及施設等  
4 後援機関、例えば、P・T・A、設立者等

## 5 その他

### 三、幼児教育振興策

#### 1 家庭生活の改善

例えば母親への教育、社会教育関係者の活躍等

#### 2 社会の協力

例えば一般社会人の子供の保護、子供の遊び場所、玩具製造者、絵本製作者等への指導、児童文化関係者の指導、協力、社会環境の整備等

#### 3 施設の改善、増設

経費、法的な保護（児童憲章、児童福祉法の実施程度）

#### 4 教育関係者の努力

### 三

前に述べたように全盟大会に先立つて各府県で研究大会が催され、そこで発表された中から選りすぐられた研究が府県の代表研究として大会前に事務局へその報告が届けられていたのであるが、多くの府県の研究は提出された問題の全部にわたっているものがなく、その焦点を一二の問題に集中して掘り下げたものは少なかった。

大会三日間のうち、第一日午前は総会の講演であつたし、第三日はやはり総会で各分科会の報告であつたので、第九分科会としての研究は、第一日の午後と第二日全日の合計一日半にわたつて行われた。分科会の司会者としては、前記吉川氏、三重県龜山小学校の辻博也氏、秋田県末広小学校の大里隆一氏の三人が当られ、講師として第一日にはわたくし、第二日には功刀氏とわたくしとが出席した。

まず全体的な感想から述べよう。いままでいろいろな保育関係の大会・研究会・講習会に参加したわたくしの感じからいふと、出席者の中に男性の校長・園長がほかの会合にくらべて多いことと約三分の一が小学校の校長教諭であることがめだつてい

ていつもの保育関係の会合とちがう、しかし熱心な空気が流れていた。しかし今度の大会の分科会としては、女性が圧倒的多数を占めているので、非常に和やかな分科会であり、第三日の総会での分科会報告も栃木県代表としての宇都宮大学附属幼稚園の井上初代さんによつてなされ、十一分科会代表者中の紅一点として異彩をはなつた。

研究討論は非常に真剣でまことに快いものがあつた。他の分科会では組合の斗争気分がぬけ切れず、野次を飛ばしたり、他の発表者の発言を十分に聞かないでやたらに自分の意見を固執するような傾向の所もあつたということであるが、幼児教育の分科会は、冷静で、和やかで、研究的で、真剣で、幼児教育を自分自身の責任として研究する幼児教育者の使命感に裏づけられた快い分科会であつた。

### 四

分科会として各府県から寄せられた研究はそれぞれの府県において、熱心に研究されたものではあつたが、一日半で分科会としてのまとまりを得るためには、問題の焦

点を集約する必要がある。そこで司會者と講師との協議で、第一日は家庭教育の問題、第二日は幼児教育施設の問題について討議することとし、それ／＼参會者にはかつた上賛成を得て、このようにすすめることになつた。

第一日の家庭教育の問題については、まず栃木県代表から農村における幼児の現状、家庭の現状についての報告があり、神奈川県から農村保育所を中心とする家庭教育改善の実践報告がなされた。そしてこれに連関して、茨城・宮城・香川・岐阜・愛知・北海道の各県から、それぞれの県における家庭教育の現状の報告があつて、結局家庭教育改善のためには家庭生活の改善が急務であることが明かにされ、その具体的方法についての研究討論が展開された。その結果、参加各県から多様な意見が述べられたが、要約すると次のような点が問題となることが明かにされた。第一は家庭生活の封建性の打開である。祖父の横暴、男性の無理解、女性の無自覚を是正する必要がある、母親学級・家庭訪問・講演会等による母親教育と広くは社会とくに農村社会

全体の改善が急務である。第二には生活様式改善が必要であり、そのために、新生活運動が必要である。第三に幼児用の文化財の不足を整備することが必要である。そしてこれらの具体的方法について、いろいろの具体的体験の発表がなされた。第一日の最後には、第二日の問題への発展の足場として、東京都の研究発表があつて散会した。

第二日は、幼児教育施設の問題についての研究であつた。まず最初に、幼稚園保育所というような問題にとらわれることなく、日本の全幼児の教育という観点から、研究討議をすすめることを申合せて、鳥取・岩手・佐賀・島根・兵庫の各県の現状についての調査報告があり、それらを足場として午前午後にわたつて活発な意見討論が行われた。非常に多様な意見が述べられたが、結局、幼児教育施設の登困を救うためには、幼児教育の義務制へすすむというのが、最も効果的な方法であるという結論に達した。そこで幼児教育の何年間を義務制にするかということについて、いろいろと論議されたが、理想はともかくとして、現在における現実の可能性からいつて、ま

ず就学前一年の幼児教育を義務制にするという運動を起すべきであるということになつた。しかし漠然とした目標では駄目だから、具体的に何年の間に実現を期するかということについてもいろいろ意見が出たが、五カ年の間に実現を見ることを目標とすることとなり、その五カ年計画の詳細の具体案を作ることを日教組に小委員会を設けてこれに具体的推進を委ねることになつた。さらにこれに連関して、平衡交附金の問題、公立学校の利用・教師養成の問題・小学校と連関するカリキュラムの問題なども論議され、参加各県で努力を結集することになつた。また、文部省内に幼稚園課を設置して、幼稚園専任の視学官を置くことを建議し、各都道府県教育委員会に幼児教育専任の指導者を配置するよう要請しようということも申合された。

以上が、今回の大会の第九分科会の概況であるが、ここでいろいろと研究された結論についていろいろ実行上の困難が伴つている。これを如何に打開するかということが、わたくし達に課せられた今後の大きな問題である。

# アメリカだより

サンフランシスコに上陸したのは九月二十九日で、数日そこで過してから、バスでオースティンへ三日の旅をして到着しました。こゝはテキサス州の首都ですが、政庁と大学しかない静かな美しい街です。ちよつとフォスターの音楽を思い出します。数ヶ月前には、原生省保育課長の吉見静江氏もこゝへ来ていらつしやいました。

さて私は主に心理学的な研究のためにここに來ているのですが、そうしたことを中心にすこし感想をのべてみましょう。

☆

アメリカでは臨床心理学と言う分野が日本とはくらべものにならない位發展してゐて、その背景には多かれ少かれフロイド学派のにおいがいたします。ですから幼児期の精神的發育が正常であるか異常であるか、最も大きな問題の一つになつてゐます。臨床心理学は行動の異常をとりあげている学問なので、こうした幼児期の生活体験と、その差によつてどう人格の發展がちがつて来るかを鋭く追求

してゐるのです。そうした事は、ひいては精神衛生の重要問題になります。

しかし、こゝまでは最近日本でもとりあげ始めていますが、次のこと、つまり、もつと理論的な基礎的なことも、意外に思う位に徹底的に研究されている事は注目すべきだと思ひます。たとえば教育の勉強するために、数学の勉強をもしなければならず特に、心理学を専攻する場合そうした単位をいくつもとらなければならぬのです。私のいる、テキサス州立大学は、実験心理学者として世界的に有名で、しかも物理学者でもある、ダレンバック教授がこうした方面の指導者だから尙更なのでしよう。

☆

もう一つ面白いと思つたのは、この大学では、談話、話し方と言うことが重視されてゐて、それを専攻するすばらしい学部がある事です。デパートメント・オブ・スピーチがそれです。正しい国語、そうしてその表現方法がこんなにも大事である事を私は忘れていたような気がします。心理学的に言つても、言葉を覚えるのは特に幼児期が最も重要で、こゝにはスピーチ・クリニックと言うものさえあつて親切にその

相談にのつていますが、英語の下手な外国人の爲にも色々便利な計画を立ててゐます。こゝにはメキシコ人その他スペイン語しか話さない外国人が多いからなのでしよう。実は私も大いにそのごやつかになつてゐます。

☆

私がこつちで得たお友達の人であるP嬢は、今いつしようけんめに英語を知らないメキシコ人の子供たちに英語を英語しかつかわないで教えてゐます。こうした直接法をとると子供の場合になおさらのこと早くしゃべれるようになります。彼女はこゝのスピーチ専攻の学生ですが、日本へ行つて日本の子供たちにも教えたいと言ふ夢をもつてゐます。彼女をむかへてあげる幼稚園か保育園があるかしら。さて、英語のことはともかくとしても、日本語のスピーチのこと、もうすこし幼稚園や保育園で考えろといふような気がしますが、どうでしょう。スピーチだけで大学の一つの専攻単位になつてゐるこの国がうらやましいと思ひました。

☆ Texas U.S.A. 相場均